

南中学校便り

令和4年1月28日発行（第10号）



礼を正し
場を清め
時を守る

「入試の季節になると思い出すこと」

校長 長崎 伸一

3年生は、私立高校入試が終わりましたね。結果も返ってきているようです。あっという間に2月ですね。うかうかしていたら2月もあっという間に過ぎ去ってしまいますよ。

学校あるあるではないですが、3学期はあっという間に過ぎ去ってしまうものです。1月は「いく」、2月は「にげる」、3月は「さる」という具合に…

あと1か月後には、公立高校入試。私も40数年前に受験をしたのですが、その時の話です。ほとんどの公立高校入試は、その高校が会場となります。始めて会場に臨んだ時にみんな頭が良さそうに感じました。同じ中学校から5名受験したのですがとても緊張したことを覚えています。教室からは時計が外されていましたから、買ってもらったばかりの腕時計を机の上におきながら、心と目を凝らすと、なんと机の左上に、そこには受験番号を書いた紙が貼ってあったのですが、その紙の横に小さく見えるか見えないかぐらいの文字で「がんばれ」とメッセージが書いてあったのです。誰が座るかかわからない自分の座席に、この机を使っている先輩がメッセージを残してくれたんだ。とそう思った時に、この高校に入学したいと強く思いました。おかげで、落ち着いた状態で試験が終わりました。最後の教科がおわった後で、座席を離れる直前に「ありがとうございました」と返信のメッセージを残して…

なんとか合格して、1年後今度は自分たちが後輩を迎えるシーズンがやってきました。その時に分かったのですが、高校では入試が近づくと、机の天板をきれいに掃除させるんですね。落書き等、残していないかそれはそれは入念なチェックがありました。こんなチェックをかくぐって先輩はメッセージを残してくれたんだなあ…1年前のことを思い出しながら先輩の気持ちを想像してうれしくなりました。そして、自分もやってみたくなりました。この気持ちを誰が座るともしれない後輩に伝える義務・使命感のようなものを感じて、私もチェックの目をかいくぐって、受験番号を書いた小さな紙の横に、小さく「ファイト」とメッセージを書いておいたんだ。テスト明けに教室に入り、ドキドキしながら自分の机に座り左上をよく見たら、なんと英語で「Thank you」と返事が残されていたんだ。もう、うれしくてね。まだ見ぬ後輩とそんな言葉のやりとりで繋がったような気がして…

さて、まもなく公立入試がやってきます。みんなが受験する机の上にも、そんな先輩たちのメッセージが残されているかもしれないよ。「落ち着いてまず深呼吸」だね。



新型コロナウイルス感染症対策の徹底等について。

今月27日に、鹿児島県に「まん延防止重点措置」が発令されました。新型コロナウイルスの感染拡大の状況が少しでも落ち着くことを祈るばかりですが、このような状況下で年度末の教育活動をどのように迎えるのか、学校でもいろいろ対策を練っているところです。今後の学校としての基本的な感染対策は「新しい生活様式」を元に徹底した取り組みを行い、行事等においては、対策を講じた上で、国が示すレベルに同じ実施可能な開催を工夫します。しかし、県のレベルや地域の変化をぎりぎりまで見極めながら安全を優先し、中止や延期も視野に入れながら、たとえ当日であっても計画を見直すこととします。大変な時期ですが御理解と御協力をお願い致します。

◇ご協力をお願いします◇



まん延防止期間中の行事等の対応について

1月27日（木）から2月20日（日）まで、「まん延防止重点措置」が発令されていることから、2月以降の地域や学校での行事等の検討を行っております。以下に1月28日現在での計画をお知らせいたします。

1 今後の主な行事等

- (1) 2月2日（水）
学校保健委員会・・・中止
- (2) 2月4日（金）
職業人講話・・・オンライン開催
- (3) 2月8日（火）～10日（木）
学年末テスト・・・計画通り
- (2) 2月12日（土）
土曜授業・・・中止
- (4) 2月13日（日）
第43回南校区文化祭・・・中止
- (5) 2月18日（金）
3年学年・学級PTA・・・調整中
- (6) 2月19日（土）
南・宇宿校区 合同立志式・・・中止
- (7) 3月4日（金）
1,2年授業参観、学年学級PTA } 3月8日へ延期
- (8) 3月4日（金）

丸々出来たよ桜島大根収穫

21日の南日本新聞（朝刊）記事でも紹介がありました。特別支援学級の生徒3名が種から育て上げた桜島大根15本の収穫祭がありました。理科担当の中峯先生の指導の下、1人5本ずつを収穫しました。また、近隣の小学校や幼稚園へもおすそ分けをしました。（裏面に新聞記事を紹介しています。）



お世話になります

1月より事務補としてお世話になることになりました川路紀美子と申します。今まで事務の仕事に従事してまいりましたが、学校での事務は初めてになります。慣れないことも多くご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、少しでも早く仕事を覚えて皆様のお役に立ちたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。



◆◇2月の主な行事予定◆◇

日	曜	主な行事
1	火	まん延防止等重点措置期間
2	水	
3	木	健考の日
4	金	職業人講話
5	土	週休日
6	日	週休日
7	月	
8	火	学年末テスト
9	水	学年末テスト
10	木	学年末テスト
11	金	建国記念の日
12	土	週休日
13	日	週休日
14	月	
15	火	
16	水	
17	木	健考の日
18	金	3年学年・学級PTA
19	土	週休日
20	日	週休日
21	月	
22	火	
23	水	天皇誕生日
24	木	
25	金	
26	土	週休日
27	日	週休日
28	月	

新型コロナウイルス感染症対策の徹底等について

県内外での新型コロナウイルス感染者数が激増している状況を鑑み、本校でも感染症対策について、以下の対応に取り組みますので、御家庭でも感染拡大防止のために御理解と御協力をお願いいたします。

1 学校における対応

(1) 感染症対策の徹底

ア 児童生徒・学校職員については、引き続き、毎朝検温等の健康観察を入念に行うとともに、発熱や体調不良等の場合は、登校・出勤を控えるようにし、自宅での休養や状況に応じて早めに医療機関を受診を呼び掛けます。

イ 同居する家族等に発熱等の風邪症状が見られる場合、特に、家族に濃厚接触者が確認された際は、学校へ御相談ください、登校について慎重に判断します。

(2) 感染リスクへの対応等

ア 児童生徒・学校職員については、身体的距離を十分確保するとともに、マスク着用とします。

なお、天候の状況や健康上の理由等により、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すなどの対応を行います。その際は、換気や児童生徒等の間に十分な距離を保つなどの配慮をします。

イ 可能な限り「3密」と「大声」に注意するとともに、適切な手洗いや換気等を徹底します。

2 今後の教育活動（「レベル3」の対応が続く期間）

【学習活動等について】

ア 原則として通常登校とする。ただし、自校や中学校区、地域の感染状況等に応じて、時差登校等も検討します。

イ 全学級で授業時間を短縮（45分授業）し、手洗い・換気等の時間（15分）を確保します。

ウ 各教科における「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動」は控えることとし、必要に応じて指導計画を見直すなど、適切な措置を講ずる。

なお、学校行事等についても、「接触」「密集」「近距離での活動」など感染リスクの高い活動は避け、実施方法の工夫を行います。

エ 修学旅行が「まん延防止等重点措置」の適用期間に計画されている場合は、可能な限り、実施時期や旅行先について再検討を行うようにします。

オ 特別支援学級等においては、個に応じたより丁寧な感染症対策を行います。

カ 学級・学校閉鎖等の場合は、児童生徒の学びの保障のため、タブレット端末の持ち帰りやオンラインを活用した取組を積極的に進めるようにします。加えて、不安を感じて登校できない児童生徒へは、オンラインあるいはプリント等の代替の方法を含め丁寧な対応を行います。

キ 2月12日（土）の土曜授業は中止します。

【給食等について】

ク 給食等の食事をとる場面では、児童生徒・学校職員全員の食事前後の手洗いを適切に行うとともに、換気を行い、配膳の工夫、机の向かい合せや会話を控えるなどの対応を徹底します。

ケ 給食後等に、歯みがきや洗口を行う場合は、児童生徒・学校職員が互いに距離を確保し、換気のよい環境で行うよう指導します。

【部活動等について】

・ 部活動等については、1月27日から2月2日までの1週間、活動を停止する。

【再開後の部活動等】

・ 通常の練習においては、可能な限り感染及びその拡大リスクを低減させながら、なるべく個人での活動とし、少人数で実施する場合は十分な距離を空けて活動する。密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い活動、向かい合って発声したりする活動は行わないようにします。

・ さらに、部活動前後の生徒同士でのマスクを外した会話や食事を控えるよう、特に、指導を徹底します。

・ 県内外を問わず他校との練習試合・合同練習等は行わないこととします。

・ 大会等の参加に当たっては、学校として主催団体とともに責任をもって、慎重に判断することとし、学校の所在する地域や大会の開催地の感染状況、開催地で感染した際の対応等を検討するとともに、保護者の理解を得ることとします。

また、競技や演技等のもとより、会場への移動時や会食・宿泊時、会場での更衣室や会議室等の利用時などにおいても、生徒・学校職員の感染拡大を防止するための徹底した対策を講じます。

3 家庭との連携、啓発

家庭に対し、以下の内容について連携、啓発を行います。

・ 毎日の児童生徒等の健康観察を行い、発熱等の症状がある場合には、自宅での休養や状況に応じて早めに医療機関を受診するように呼び掛けます。

4 児童生徒・学校職員の心身状況の把握、心のケア等

(1) 児童生徒・学校職員が新型コロナウイルス感染症を理由とした、いじめや偏見等に悩んだ場合の相談窓口等の周知を行うとともに、心のケア等に努めます。

(2) インターネット上の誹謗中傷や家庭における課題が生じている可能性も踏まえ、悩みを抱える児童生徒・学校職員の早期発見に努めます。

(3) 学校生活の中で気になる児童生徒については電話連絡を行うなどして、児童生徒の安否確認を行います。

○ 御不明な点等ありましたら、南中教頭へ御相談ください。御協力、御理解の程宜しくお願い致します。

THE MINAMI NIPPON SHIMBUN

2022年(令和4年)1月25日

**丸々出来たよ
桜島大根収穫**
南中・種から育てる

鹿児島市の南中学校（東郡元町）で21日、特別支援学級の生徒3人が種から丸々と育て上げた桜島大根15本を収穫した。円形に広がる葉の根もとを両手で抱えるようにつかみ、ずしりと重い大根を引き抜いた。収穫後は切って試食し「おいしい」と笑顔を見せた。

理科を教える中峯健一郎教諭(65)が、実際に大根を育てることで理科を体験的に学んでほしいと本年度から始めた。校庭にある産業道路沿いの畑に昨年9月種



丸々と育った大根を持つ生徒＝鹿児島市東郡元町の南中学校

をまき、間引きや草取りをして68本を栽培。丸く育てるため、肥料の与え方も工夫した。

21日は栽培した3人を含む5人が3本ずつ収穫。日なたと陰で大根の大きさを比較し、光合成の効果を実感した。3年の山下葵さんは「大きく育てられるか不安だったが、思ったより大きくてびっくり。硬くなくておいしい」。1年の久徳友希さんは「肥料をやるのが大変だった。葉の漬物が好き」と喜んだ。

生徒がそれぞれ持ち帰るほか、近隣の小学校や幼稚園に配る。20日の桜島大根コンテストにも出品する予定。(有田佳織)